

## 『2022年度東北学院大学外部評価報告書』を受けて

東北学院大学は、教育・研究水準の向上及び組織の活性化等に資する評価を学外の第三者から得るために、「東北学院大学外部評価委員会規程」を定め、2010年度から外部評価を実施してまいりました。

この規程に基づき、2022年度は第5期外部評価期間（2022～2024年度）の1年目として、東北大学高度教養教育・学生支援機構教育評価分析センター長の杉本和弘教授に第4期から継続して委員長をお引き受けいただき、外部評価を実施しました。

第5期の外部評価委員会は、「教学マネジメント体制の個別具体的な運用状況」を評価対象とすることが委員会で決定されました。これは、第4期外部評価において評価対象とした「本学における『教学マネジメント』の運用体制」にさらに踏み込んで、全学及び学部・研究科における教学マネジメントの機能的有効性の検証を行うことを、第5期への引き継ぎ事項として設定されたものです。2022年度外部評価においては、テーマを大きく3つに分け、①2017年度の大学認証評価において「第9章 管理運営・財務（1）管理運営」で長所と評価された項目がどう伸長しているか、②大学基準協会の大学基準6「教員・教員組織」の点検・評価項目に関する状況、③大学基準協会の大学基準10「大学運営・財務（1）大学運営」の点検・評価項目に関する状況、を評価していただきました。

委員会の実施は、対面形式での開催としたことに加え、外部評価委員同士での忌憚のない意見交換や委員会の進行の事前整理を行うため、大学関係者が陪席しない場として委員会の開催時間の前後に外部評価委員と事務局のみで打ち合わせする時間を設けたことが今年度の特徴となります。また、評価は次のような流れで行われました。まず外部評価委員からテーマに沿った質問が大学へ提示され、関連部局における状況を取りまとめて大学から回答しました。この回答をもとに、第2回外部評価委員会では委員による意見交換と関連部局への追加質問、大学からの補足説明（一部書面回答も含む）を行いました。その後質疑応答を踏まえて各委員からの所見ならびに委員長による総評をまとめ、第3回外部評価委員会において『2022年度東北学院大学外部評価報告書』を提出いただきました。

外部評価委員会委員の皆様からは、特に教員評価制度や職員人事制度に関して、民間企業等の視点からのご質問や指摘を頂戴することができました。本報告書の作成にあたり、外部評価委員会の皆さまには多大なるご尽力をいただきました。あらためて委員の皆さまに厚く御礼申し上げます。

このたび提出された『2022年度東北学院大学外部評価報告書』は、大学ホームページ等を通じて広く学内外に公表させていただくとともに、お示しいただいた評価及び意見について本学の内部質保証システムに則り本学の教育研究活動の改善に活用いたします。

2023年5月

学長 大西 晴樹  
副学長（点検・評価担当） 中沢 正利